

す く す く 通 信 第4号

「とちぎ de まんぷくキャンペーン」にご当選された皆様に、6月1日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！【～田植え後118日目の様子です～】



田植えをしてからあっという間におよそ4ヶ月の月日が経とうとしています。前回のすくすく通信では垂れ下がり始めた穂の様子をご覧いただきましたが、あれから約20日後、とうとう穂が黄金色に変化してきました！夕焼け空に黄金色の稲穂がキラキラ☆秋の訪れを感じる風景ですね♪

10月5日の稲刈りに向けて、稲穂の準備も万端です！楽しみにしていてくださいね♪

ちなみに、この黄金色の稲穂の状態から、どのようにして皆様が普段食べている白いお米になるかはご存じでしょうか？

稲刈り後、「もみ」の部分だけを収穫します（コンバインという機械を使って、稲を刈る作業と並行して行われます）。「もみ」とは、お米（玄米）が包まれている皮のことを言います。収穫の後はこのもみをお米からはがす「もみすり」と言う作業を行い、その後ぬか層を取り除く「精米」という工程を経て、はじめて皆様の馴染みのある白いお米となります。

皆様が炊き立ての白いご飯を食べるまでには、実はこんな工程があったのです！

農家さんをはじめとする、たくさんの方が関わってできるとちぎのお米。お家でご飯を食べるときに、ちょっぴり思い出していただけると嬉しいです♪



今回をもちまして、今年度の「すくすく通信」の配信は終了となります。短い期間ではありましたが、ご覧いただいた皆様、ありがとうございました！今後とも、栃木県産米をどうぞよろしくお願いたします。